

建交労 ひかい

2019年10月号
発行：建交労 No.187
岐阜農林建設連合支部
〒501-4234
郡上市八幡町五町1-4-15
電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす

三井金属神岡鉱山じん肺訴訟

2陣判決 来年3月25日



三井金属神岡鉱山じん肺2陣訴訟は、9月9日に岐阜地裁で結審しました。裁判所は和解を勧告しましたが、決裂。来年3月25日に判決となりました。

1陣訴訟で、最高裁により原告全員の被害と三井金属鉱業の加害責任は確定しました。司法の場において断罪されたにもかかわらず、いまだ原告に謝罪せず企業責任を果たさない三井金属鉱業には、コンプライアンスが全く感じられません。

私たちは、勝利判決を確信しています。被告がじん肺病変がないと鑑定した竹中さんの剖検肺にはじん肺病変が確認されたことや国がCTのじん肺判断における有用性の研究を5年間も継続しながら結果を出せていないこと、被告側証人の木村清延医師がじん肺法を逸脱した証言をおこなったことなどいまや被告のCTによるじん肺判断こそが正しいとの主張はまったくの誤りであることが明らかにされたからです。

来年の判決に向けて、三井金属鉱業に解決を決断させる運動を大きく広げていきます。

じん肺被害者の早期救済を！ 第30回なくせじん肺 全国キャラバン始まる

被害者の早期救済と 労災職業病の根絶をめざす

9月30日、全国から仲間がキャラバン発祥の地である長崎県北松に集まり出陣式を行いました。いよいよ全国47都道府県でキャラバン行動が始まりました。

このキャラバンは、毎年1回、10月1日に始まる全国労働安全衛生週間に合わせて「すべての労災職業病の根絶」をめざしておこなうものです。今年も、30回目の大きな節目を迎えました。地方自治体や労働局をはじめとする国の機関に要請をおこないます。また集会やデモ行進などを通して、多くの人にじん肺や

アスベスト被害を理解してもらい、職業病根絶の世論を広げます。

キャラバンの成果

じん肺訴訟では、1000件にのぼる勝利判決、163件の和解解決を勝ち取ってきました。

また、トンネルじん肺訴訟では国に勝利し、粉じん則の改正、積算基準の改定など制度改革を実現しました。

「緊急3提言」を実現するなど、キャラバン運動はこれまで大きな成果をあげてきました。

裁判によらない被害者救済のために「トンネルじん肺基金制度」「アスベスト

被害者救済基金制度」の創設をめざします。

私たちの要求

企業のじん肺加害責任は明確になっていきますが、三井金属鉱業のように責任を認めず解決の引き延ばしを図る企業が少なくありません。すべてのじん肺訴訟の早期の勝利解決をめざします。

緊急3提言とは

- ① トンネル建設現場においても粉じん測定を義務付けよ。
- ② じん肺に罹患したものに合併した原発性肺がんについては、これを業務上として労災補償の対象とせよ。
- ③ 管理2の決定を受けた者または粉じん作業に3年以上従事した者に対して健康管理手帳を交付し、離職後の健康管理体制を確立せよ。

2019年第30回
全国キャラバン
キャラバン期間 9月30日(月)～10月24日(水)
なくせじん肺 アスベスト
すべての労災職業病の根絶を

10月23日③ 12:00 厚労省・環境省前集結行動
14:00 厚労省労働安全衛生局(原研第1・大会場)
(日本橋一先生 記念講演)

10月24日③ 12:00 国会参議院デモ

なくせじん肺全国キャラバン 実行委員会

2019年第30回『なくせじん肺全国キャラバン』岐阜日程

月	日	時間	行動内容
9月	30日(月)	13:15~16:00	慰霊祭・出陣式
		18:30~20:15	交流会(サンプリエール)
10月	1日(火)	07:30~12:30	宣伝行動など
	4日(金)	10:00~11:00	高山市要請
	6日(日)	13:00~15:30	中部ブロック集会
	8日(火)	10:00~11:00	飛騨市要請
	10日(木)	10:00~11:00	岐阜労働局要請
		13:00~14:00	岐阜県要請
		15:30~16:30	経産省要請
	17日(木)	10:00~11:00	多治見市
		13:00~14:00	土岐市
		15:00~16:00	瑞浪市
	18日(金)	10:00~11:00	岐阜県医師会
	23日(水)		集結集会
24日(木)		三井要請・デモ	



錦公園前でのデモ出発時の様子

9月11日トンネル6陣訴訟が福井地裁で行われました。飛騨分会のみなさんが応援に駆けつけてくれました。

トンネル6陣訴訟 福井地裁 第3回口頭弁論

錦公園に集合後、裁判所までのデモ行進を行いました。

弁論ではトンネル作業の様子が上映されました。被告であるゼネコン側が制作した映像であるにもかかわらず、粉じんが出ている場面や、更にマスクを着用せず作業をしている場面も映っていました。現場の粉じん対策が不十分であるということが明確である内容でした。

次回弁論は11月8日、次々回は12月25日です。基金創立と来年4月の和解に向けて奮闘しましょう!

2019年9月の活動報告

経過

- 9/5 第11回執行委員会 @組合事務所
 9/9 神岡じん肺訴訟 結審弁論 @岐阜地方裁判所
 9/10 神岡じん肺訴訟 原告団会議 @古川町中央公民館
 9/11 トンネルじん肺訴訟 第3回口頭弁論 @福井地方裁判所
 9/13 神岡じん肺訴訟 闘争本部会議 @郡上市文化センター
 9/15 県本部執行委員会 @組合事務所
 9/17 難聴検査 @岡田耳鼻咽喉科
 9/18 労災決定の報告 @前川ファミリークリニック
 9/20 振動障害夏の検査 @福井 光陽クリニック
 9/28 国民救援会岐阜県大会 @すこやか診療所

2019年10月の予定

予定

- 9/30~10/1 なくせじん肺全国キャラバン 出陣式 @長崎
 10/4 なくせじん肺全国キャラバン 高山市要請
 10/6 なくせじん肺全国キャラバン 飛騨市要請
 10/10 なくせじん肺全国キャラバン 岐阜局・岐阜県・経産省要請
 10/17 なくせじん肺全国キャラバン 東濃3市要請
 10/20 県本部定期大会
 10/23~24 なくせじん肺全国キャラバン東京集結行動

～お悔やみ～

●飛騨分会の谷下倉一さん(72)が亡くなりました。谷下さんはトンネル工事で活躍されましたがじん肺を発症。長い間療養に努めておられました。慎んでご冥福をお祈りします。

編集後記

『アサシンクリード オリジナル』というゲームがある。紀元前のエジプトを舞台にした作品で、自由に、例えばピラミッドの頂まで登ったり、そこから果ての無い砂漠を見渡したりできる。

昨今の映像技術の発展は目覚ましく本物がCGかわからないほど。風が吹くと舞う砂粒の流れがテレビ画面で認識できるくらい繊細な映像だ。

それに加えて古代エジプトを研究している専門家が制作に携わっており、建物の位置や大きさ、生活する人々の恰好まで紀元前のエジプトを完成度高く再現されている。

火災で燃える前の人々が利用するアレクサンドリア大図書館を見たときは、しばらく突っ立ち呆然としてしまった。現存しない建物の美しさや壮大さが、リアルに生きて存在していたからだ。

そんな疑似体験を堪能すべく、今日も家に帰ると古代エジプト人になり、相棒のラクダと灼熱の砂漠を渡るのだった。

(編集委員

畑中)